

自己点検・評価表

※ この自己点検・評価表では、「優良」を評価4、「適合」を評価3としている。

実施日: 令和 3年7月1日
 学校名: 中央情報経理専門学校

1. 学校の教育目標

・建学精神
 経理と情報は経営に通ず

・教育目標
 高度情報化社会の一員として、最も必要となる経理と情報の専門的理論と高度の技術を習得させ豊かな人間性を持つ経理と情報のスペシャリストを養成する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

専門学校を取り巻く環境は大きく変化しており、職業教育を担う役割の学校として以前にも増して期待を寄せられようになっている。また、少子化の影響による学生数の減少は学校経営をも揺るがせかねない状況でもある。そこで、教職員が今の変化の激しい社会について、自ら調査研究し業界の動向を良く知り、そのことを教育の現場に生かしていくことが重要になる。その結果、教育の質を向上させ、魅力ある学校づくりが募集につながることを意識を持って業務に取り組んでいく。

重点目標

・退学率 1年次5%以内 2年次1%以内 3年次0% 4年次0%
 ・就職 卒業式までに100%

・資格

情報経理学科 税理士科目合格者3名輩出
 日商簿記1級1年次取得率 全国合格率の2倍
 日商簿記1級または全経簿記上級合格 卒業までに60%以上

情報ビジネス学科 日商簿記3級合格 卒業までに90%以上 各種コンテスト(群馬イノベーションアワード等)での入賞

医療福祉秘書学科 診療情報管理士合格100% 診療報酬請求事務合格 卒業までに50%以上

保育福祉学科 幼稚園教諭2種免許・保育士資格取得100% リトミック指導者2級合格100%

3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標		優良・4、適切・3、やや不適切・2、不適切・1					エビデンス (文書名又は文書番号)
		全体	情報経理	情報ビジネス	医療福祉	保育福祉	
1	1	3	4	3	3	3	講義概要(シラバス)、学生生活の手引き
1	2	4	3	4	4	3	教育課程編成会議議事録
1	3	3	3	4	3	3	講義概要(シラバス)、パンフレット
1	4	3	3	4	3	3	講義概要(シラバス)、パンフレット
1	5	3	3	3	2	2	講義概要(シラバス)、パンフレット

① 課題

本校の理念や目的、目指す学生像について、保護者への説明機会が少なかった。

② 今後の改善方策

年二回実施している保護者会や、入学前に実施するピフォアスクール等に積極的に参加してもらい、周知の機会を増やす。
 また、保護者会の担任面談における全体会を、オンラインや動画の限定配信等を利用して幅広い方に参加を促す。

2 学校運営			優良・4、適切・3、やや不適切・2、不適切・1					エビデンス (文書名又は文書番号)
			全体	情報経理	情報ビジネス	医療福祉	保育福祉	
2	1	専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているか	3	/	/	/	/	職業実践専門課程別紙様式4
2	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3	/	/	/	/	校務分掌一覧
2	3	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3	/	/	/	/	組織図
2	4	目的等に沿った事業計画が策定されているか	3	/	/	/	/	事業計画書
2	5	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3	/	/	/	/	週間運営報告書
2	6	人事、給与に関する制度は整備されているか	3	/	/	/	/	就業規則
2	7	専任教員は適正に配置されているか(専任教員や非常勤講師の適当な担当コマ数などの講義・実習負担は妥当であるか)	2	/	/	/	/	授業時間割
2	8	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	3	/	/	/	/	週間授業等報告書・特別講師交流会資料
2	9	業界や地域社会等からの意見の収集・分析・応答の仕組みができているか(苦情及び要請への対応を含む)	3	/	/	/	/	顧客クレーム報告書
2	10	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3	/	/	/	/	学園新聞、HP
2	11	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3	/	/	/	/	学生管理システム
2	12	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	3	/	/	/	/	苦情及び相談マニュアル
2	13	学生及び保護者等が不満を抱いている場合や、学校側と意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	3	/	/	/	/	学生生活の手引き

① 課題

専任教員のみでカリキュラムの全てを進めることはできないため、非常勤講師に頼る部分が多い学科もあるが、予算等の関係で無理な内部化をしなければならないところもある。

② 今後の改善方策

非常勤講師を多く使うためには学生募集を成功させ、安定した財源を確保する必要がある。

3 教育活動			優良・4、適切・3、やや不適切・2、不適切・1					エビデンス (文書名又は文書番号)
			全体	情報経理	情報ビジネス	医療福祉	保育福祉	
3	1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	4	4	3	講義概要(シラバス)
3	2	自主学習を含む学習時間・学習方法として、カリキュラムの目的や要件に対応し、学生の生活時間や学習時間に配慮した設計がなされているか	3	4	3	3	2	講義概要(シラバス)
3	3	学習参加の前提としているスキルや要件などに不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか	3	3	3	3	3	教師指導表評価表、学生面談記録
3	4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	3	4	3	3	教育課程編成会議議事録
3	5	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3	3	3	3	3	講義概要(シラバス)
3	6	専門分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3	3	4	3	3	教育課程編成会議議事録
3	7	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3	3	3	4	3	講義概要(シラバス)
3	8	講義および実習に関するシラバスは作成されているか(学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか)	4	4	4	3	3	講義概要(シラバス)
3	9	シラバス(作成されていればコマシラバス)には到達目標が記載されているか(Can-Doを意識した到達目標の明示)	3	3	3	3	3	講義概要(シラバス)
3	10	専門分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	3	2	3	4	4	講義概要(シラバス)
3	11	シラバスあるいは講義要項(作成されていればコマシラバス)などが事前に学生に配布され、授業で有効活用されているか(あるいはホームページなどで公開されているか)	4	4	3	4	4	講義概要(シラバス)
3	12	学生や保護者に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	3	3	3	3	4	講義概要(シラバス)、学生生活の手引き
3	13	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか(第三者による授業評価を行っているか)	4	3	4	4	4	教育課程編成委員会議事録、学校関係者評価委員会議事録
3	14	学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定され、個人情報保護への配慮がされているか	4	3	4	4	4	個人情報保護規程、個人情報取扱規程

① 課題

保育福祉学科は、3年制の方が時間的な余裕があるはずだが、当校では授業時間数が極めて多く設定されており、学生が自由に使える時間は多くない。

情報ビジネス学科は、キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラム(CCG共通ミッションプログラム・キャリアデザイン)をCIAの中でも他学科に先駆けて実験的に導入する段階にあるが、学校行事がコロナ禍で計画通り実施できず、なかなか成果を出せていない。情報経理学科は守秘義務に関わる部分が多く、インターンシップ・実習になじまないとして、できていない。

② 今後の改善方策

保育福祉学科については、適正な授業時間数の設定、学生の自主学習を前提としたカリキュラムに変更していく。

様々な企業様の協力を得て、スポット講義や連携授業、新しい科目などを導入していく予定。その後、それぞれのスケジューリングと授業終了後のアンケートや評価を行い、振り返りを行い改善をしていく。

情報ビジネス学科については、キャリアデザイン I・II・IIIの教師用テキストを作成し、全学科に展開できるようにする。

情報経理学科については、今後は経理マンと言えどもコミュニケーション能力などが求められるので、その面での開発として販売部門でのインターンシップ・実習を行い、現場から学ぶことを実践できるようにしたい。

4 学修成果			優良・4、適切・3、やや不適切・2、不適切・1					エビデンス (文書名又は文書番号)
			全体	情報経理	情報ビジネス	医療福祉	保育福祉	
4	1	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	3	3	3	3	3	講義概要(シラバス)、学生生活の手引き
4	2	就職率の向上が図られているか	4	3	4	4	4	年度目標報告書
4	3	資格取得率の向上が図られているか	4	3	3	4	4	年度目標報告書
4	4	退学率の低減が図られているか (学生の進級率と卒業率はどうか)	3	3	3	3	3	年度目標報告書
4	5	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか(卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか)	3	3	3	3	3	学園新聞
4	6	評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか	3	3	3	3	3	年度目標報告書
4	7	学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	3	3	3	3	3	教育課程編成委員会議事録、学校関係者評価委員会議事録
4	8	成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	3	3	3	3	3	成績証明書
4	9	ニーズ調査結果に基づき目的(到達目標)を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	3	3	4	3	3	教育課程編成委員会議事録、学校関係者評価委員会議事録
4	10	学習サービス(教育・訓練)を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	4	3	4	4	-	教育課程編成委員会議事録、学校関係者評価委員会議事録
4	11	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	3	3	2	3	教育課程編成委員会議事録、学校関係者評価委員会議事録

① 課題

カリキュラムの評価については年度末に行い、教育課程編成委員会での評価も受けているが、3月実施では定期的に次年度カリキュラムの修正が十分できなかった。また、卒業生のその後を十分把握できていない。

② 今後の改善方策

次年度カリキュラムの見直しが具体的にできる時期に教育課程編成委員会を実施する。また、自分達から学科の方向性をしかるべきタイミングで提案していく。さらに就職先訪問を通じて、卒業生のキャリア形成の状況を把握して行くようにする。OB・OGによる特別授業を行ってもらうことで、状況把握と共に在校生への教育に繋げる。

5 学生支援			優良・4、適切・3、やや不適切・2、不適切・1					エビデンス (文書名又は文書番号)
			全体	情報経理	情報ビジネス	医療福祉	保育福祉	
5	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか (またそれはきちんと学生や保護者に周知されているか)	4	/	/	/	/	就職指導計画表、就職ガイドオリジナル版
5	2	学生相談に関する体制は整備されているか (相談窓口が設置されているか)	3	/	/	/	/	組織図
5	3	保護者と適切に連携しているか(保護者のニーズを把握しているか)	3	/	/	/	/	保護者会資料
5	4	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	/	/	/	/	パンフレット
5	5	卒業生への卒業後教育等の支援体制はあるか	4	/	/	/	/	CHUOジョブカード
5	6	図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	2	/	/	/	/	学生生活の手引き
5	7	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	/	/	/	/	募集要項
5	8	学生の健康管理を担う組織体制はあるか(学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか)	3	/	/	/	/	組織図
5	9	授業についてこられない学生に対して、リメディアル教育や他コースの紹介などの支援策を実施しているか	3	/	/	/	/	週間授業等報告書
5	10	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3	/	/	/	/	学生生活の手引き
5	11	学生の生活環境への支援体制はあるか (学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか)	4	/	/	/	/	募集要項
5	12	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3	/	/	/	/	

① 課題

図書室やカウンセリング等については不足している。

② 今後の改善方策

通信高校などからの入学生も増えてきて、対応が難しい学生も増えてきている。常駐は難しいと思うが、スクールカウンセラー等に定期的に来てもらうなどのサポート体制をつくれると良い。

6 教育環境		優良・4、適切・3、やや不適切・2、不適切・1					エビデンス (文書名又は文書番号)	
		全体	情報経理	情報ビジネス	医療福祉	保育福祉		
6	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか(講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか)	2	3	2	2	2	教室一覧表
6	2	カリキュラム上必要となる実習に用いる器材及びソフトウェア等を使用できる実習環境が整っているか。また必要な数のライセンスが準備されているか	3	3	2	4	2	備品台帳、各種点検ファイル
6	3	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	3	3	2	2	4	教室別備品一覧表
6	4	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	3	3	3	3	4	クラス別時間割、年間行事予定表
6	5	教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	4	/	/	/	/	防災訓練計画書、防災訓練報告書
6	6	防災に対する体制は整備されているか	4	/	/	/	/	防災訓練計画書
6	7	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	2	3	3	3	インターンシップ資料

① 課題

学内の実習施設についてはまだ不十分(教室のキャパシティ、ネット環境等)である。尚、今夏、1号館の全館外装工事を行う予定。また、オンライン環境の充実を図る。インターンシップについては学科によって実施自体が難しい分野もあるが、現状実施している学科についても前向きな見直しを行い、デュアルシステムの導入を検討したい。

② 今後の改善方策

費用が絡んでくるものになるため、出来る限り施設の整備等を行っていく。尚、今夏、1号館の全館外装工事を行う予定。また、オンライン環境の充実を図る。インターンシップについては協力してくれる企業を見つけて積極的に実施をしていくと共に、実習を行う学生と受け入れ先の企業双方にメリットのあるものにしていきたい。またインターンシップを現場でなければ学べない場と捉え、「やってみて考える」の経験学習サイクルを回せるように指導する

7 学生の受入れ募集		優良・4、適切・3、やや不適切・2、不適切・1					エビデンス (文書名又は文書番号)	
		全体	情報経理	情報ビジネス	医療福祉	保育福祉		
7	1	学生募集活動は、適正に行われているか(例えば、入学時に誓約書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか)	4	/	/	/	/	誓約書
7	2	履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、適切な管理を行っているか	4	/	/	/	/	入学願書一式
7	3	学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	4	/	/	/	/	パンフレット、募集要項
7	4	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4	/	/	/	/	募集要項
7	5	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	/	/	/	/	パンフレット、学園新聞、HP、
7	6	評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	3	/	/	/	/	学生生活の手引き
7	7	学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	3	/	/	/	/	障がい雇用ファイル
7	8	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	3	/	/	/	/	学生生活の手引き
7	9	学納金は妥当なものとなっているか	3	/	/	/	/	募集要項

① 課題

学生募集について厳しい状況。

② 今後の改善方策

ホームページやSNSを中心とした情報発信を積極的に行い、募集学生を増加させていきたい。

8 教育の内部質保証システム			優良・4、適切・3、やや不適切・2、不適切・1					エビデンス (文書名又は文書番号)
			全体	情報経理	情報ビジネス	医療福祉	保育福祉	
8	1	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4	/	/	/	/	教師指導評価表
8	2	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか(教育内容やカリキュラムを評価しているかまたその評価方法、手段、スケジュールは適切か)	3	/	/	/	/	教師指導評価表
8	3	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	3	/	/	/	/	教室一覧表
8	4	教員及び職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか	3	/	/	/	/	校務分掌一覧
8	5	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	3	/	/	/	/	教職員のコンピテンシー(個人別能力要件一覧表)
8	6	教職員の仕事に対する意欲や満足度について聞き取りを行っているか	3	/	/	/	/	キャリアデザインシート
8	7	専門分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	3	/	/	/	/	教育・訓練記録表
8	8	専門分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3	/	/	/	/	教職員一覧表
8	9	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	/	/	/	/	個人情報保護規程、個人情報取扱規程
8	10	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3	/	/	/	/	学校関係者評価委員会議事録
8	11	自己点検・評価結果を公開しているか	4	/	/	/	/	自己点検・評価公開HP

① 課題

自己点検、自己評価については公開しているものの、判明した問題点について、年度重点課題と連動せず、改善するための対応に若干の遅れがある。

② 今後の改善方策

学校マネジメントと教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会などを体系的・計画的に行うことで、PDCAが回るようにしてマネジメントの有効性を図っていく。問題点については判明次第、迅速に取り組み改善していくようにする。

9 財務			優良・4、適切・3、やや不適切・2、不適切・1					エビデンス (文書名又は文書番号)
			全体	情報経理	情報ビジネス	医療福祉	保育福祉	
9	1	財務について会計監査が適正に行われているか	3	/	/	/	/	会計監査報告書
9	2	財務情報公開の体制整備はできているか	3	/	/	/	/	財務情報公開HP
9	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	/	/	/	/	財務報告書(過去3年分)
9	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	/	/	/	/	予算書(過去3年分)

① 課題

財務基盤を中長期的に安定させるため、入学者の安定確保が重要であり、学生募集が順調に伸びるかが重要である。

② 今後の改善方策

学生にとって夢を実現させる学校になることが募集力の決め手となると考え、教育と就職指導の質的向上を今後も目指していく。

10 社会貢献・地域貢献			優良・4、適切・3、やや不適切・2、不適切・1					エビデンス (文書名又は文書番号)
			全体	情報経理	情報ビジネス	医療福祉	保育福祉	
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	/	/	/	/	年間行事予定表
10	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	/	/	/	/	ボランティア募集案内
10	3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3	/	/	/	/	市民大学講座案内

- ① 課題
現在も行っているが十分とはいえない。
- ② 今後の改善方策
企業連携と同様にボランティア活動等を通じて、地域貢献できるようなカリキュラムを研究していく。
- ③ 特記事項
学生のボランティア活動取り組み状況。
中之条ビエンナーレ、第31回ぐんまマラソン等

11 国際交流(必要に応じて)			優良・4、適切・3、やや不適切・2、不適切・1					エビデンス (文書名又は文書番号)
			全体	情報経理	情報ビジネス	医療福祉	保育福祉	
11	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3	/	/	/	/	募集要項
11	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3	/	/	/	/	入管関係書類
11	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3	/	/	/	/	
11	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3	/	/	/	/	英文証明書

- ① 課題
コロナ禍の影響で留学生の学生募集はかなり厳しい状況。
- ② 今後の改善方策
日本語学校等への積極的なアプローチの機会を増やし、オープンキャンパス等への動員を増やす事で入学者を増やしていきたい。